

所 報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第192号 令和7年5月30日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

- ・ 第1回小学校外国語教育指導連絡協議会開催について
- ・ 令和6年度江別市教育研究所事業計画

第1回小学校外国語教育指導連絡協議会を開催

5月22日（木）に、今年度第1回目の小学校外国語教育指導連絡協議会が開催されました。教育研究所所長の佐藤学教育部長の挨拶に続き、今年度の組織体制が確認されましたが、会長に大麻東小学校の久々江貴志校長、副会長に大麻西小学校の川村秀夫教頭が選任されました。

協議会では、市内の外国語教育を推進させていく上で、生じてくる課題に対して協議会メンバーで連携し対応を進めていくことや、今年度の事業計画についての確認が行われました。また、市内で指導用資料の共有化を図るために、データの蓄積を進めていることや、「中学校入学までに身に付けさせる」学習リスト、基本的な学習展開の在り方についても確認が行われました。

更に、協議会の後半では、事前に集約したアンケート課題「①系統的な教育課程の編成の工夫、②指導において抱えている不安、③指導連絡協議会で情報交流したいこと」について交流が持たれました。

1 系統的な教育課程の編成の工夫について

- ・ 中学校の授業展開（学習展開の共有）を参考にした指導方法の推進
- ・ 小中学校の連携による教育課程の見直しや、指導重点の共有
- ・ 中学校英語につなげるヘボン式ローマ字入力の統一
- ・ 英作文の作成やワークシート等を利用した「書き」の指導を意識した授業改善の推進

<確認事項>

- ① 中一ギャップ等を生じさせないために、基本的な授業スタイルの確立。
- ② ローマ字表記に関しては、他教科（国語）との兼ね合いも出てくるが、中学校英語につなげていくため、5・6年生の外国語（名称等）では、できるだけヘボン式で指導。
- ③ 「書き」に関する指導は、授業展開の中に位置づけしていくことが重要。英作文表現の取組や、ワークシートを活用した学習のまとめを推進。

2 外国語指導で不安なこと、気になっていることについて

- ・ より質の高い学習資料提供に向けたデジタル教科書等のアプリ追加やバージョンアップに関する要望
- ・ 中学校の英語教育につなげるためのローマ字表記のヘボン式への統一
- ・ 学習規律や授業展開など、授業スタイルの確立について
- ・ 小学校での文法指導について（小学校課程で求められるもの、中学校との連携等）

<確認事項>

- ① アプリの追加や、バージョンアップに関しては、予算が絡む課題があり次年度に向けて検討。要望の実現に向けては、利用状況やその有効性についても条件となってくる。
- ② 授業に関しては、効果的な支援方法があれば積極的に授業改善を推進。基本ベースとしては、資料に示された学習展開を参考に進めていく。

3 指導連絡協議会で情報共有したいこと

- ・ 評価方法について（テストを利用した見取りについて）
- ・ A L T がいない場合の授業の進め方
- ・ 他校の授業を見る機会の増設について
- ・ Google サイト等への閲覧制限の解除について

令和7年度 江別市教育研究所 事業計画

5月8日(木)に第1回所員会議が開催され、今年度の組織体制の立ち上げと、令和7年度の江別市教育研究所の事業計画について協議が行われました。江別市内の教職員研修充実に向け、夏休みに実施される夏期セミナー等、下記のような内容を計画させて頂きました。

1. 所員会議

年間6回の会議を行い、教職員の研修事業、調査研究事業などを進めます。

2. 教職員研修「夏期セミナー」

7月28日(月)～31日(木)まで、道立教育研究所をはじめ教育機関等から講師を派遣していただき、3日間6講座を開催いたします。

3. 調査研究報告書No.41の発行

児童・生徒を中心に学習や生活などに関する意識調査を行い、集計し分析・考察を加えてまとめたものを各学校や教育関係機関に配付します。

今年度は、江別第一小・豊幌小・江別第二小・対雁小・大麻東小・江別第三中・野幌中・大麻中の8校にアンケートの協力をお願いします。

4. 小学校外国語教育指導連絡協議会の運営

(1) 会議開催 年間2回(5月、1月)

(2) 研修会 市内中学校英語授業参観・意見交流会

小学校外国語活動授業参観・意見交換会

11月～12月の間に企画

(3) 指導計画編集委員会 小学校外国語教育に関しての残された課題について検討する。

5. 江別市体力向上事業

(1) 走り方教室

小学生に正しい走り方や練習の仕方などを身に付けさせるために、北翔大学の協力を得て実施します。

(2) 「江別がときめくスポーツライ大作戦(通称:スポトラ)」普及出前授業

運動に楽しく取組ながら、各学校の運動課題点の解消を目的とした北翔大学の「江別がときめくスポーツライ大作戦」の出前授業をします。輪番制による実施で、アンケート調査と合わせながら、今年度は大麻小学校、大麻西小学校、江別第二小学校、野幌若葉小学校、中央小学校、上江別小学校の6校で実施します。

6. 所報の発行

教育長の挨拶、研究所事業計画・報告、小学校外国語教育の推進と報告、体力向上の推進と報告、夏期セミナーの案内と報告、道研連研究大会の報告などの内容で、年間7回程度発行し情報提供します。



令和7年度 教育研究所所員一同の写真



令和7年度 江別市教育研究所体制

所長	佐藤 学	教育部長
副所長	小椋 公司	学校教育支援室長
副所長	高橋 浩子	江別第二中学校長
所員	中村 達矢	野幌若葉小学校教頭
所員	植木 秀明	大麻泉小学校教諭
所員	荒井 修那	江別第一小学校教諭
所員	森 寿美	江別第二中学校教諭
所員	川上 若葉	江陽中学校教諭
事務局長	高橋 秀明	教育研究所
事務局次長	原田 拓鷹	学校教育課教職員担当主査